

つくしだより



平成29年7月号

東京都精神保健福祉家族会連合会

(東京つくし会)

〒156-0056 世田谷区八幡山

3-33-1 林マンション301

TEL/FAX:03-3304-1108

<http://www.ttsukushi.sakura.ne.jp/>

発行者 眞壁 博美

2017.7.15 第324号

平成29年度東京つくし評議員会

報告

都連理事 中住 孝典

6月22日(木)世田谷区烏山区民会館で、開催されました。来賓として小林健二氏(都議会公明党)里吉ゆみ氏(共産党都議会議員団)音喜多駿氏(都民ファーストの会)西崎光子氏(生活者ネットワーク)行本理氏(東京都精神保健医療課長)加藤真規子氏(東京マル障の会会長)野村忠良氏(府中梅の木会会長)松澤勝氏(みんなねっと副理事長)のご参加いただき、また都議会自民党幹事長高木けい氏は公務で出席できずメッセージをいただきました。都議や医療課長が同席する中、今年3月に都議会全会一致で採択された「精神障害者の東京都心身障害者医療費助成制度の適用について」決議文が読み上げられ、全員の了承が得られました。

議事に入り、平成28年度活動報告を眞壁会長が報告しました。「東京マル障の会」に本会も入り、請願署名活動で中心的な役割を果たしたこと。みんなねっとと共に交通運賃割引制度の請願署名活動に取り組み、都議

会全会一致で「意見書」が採択されたこと。家族会活性化事業として「家族リーダー研修会」を実施し家族会の役割が改めて確認されたこと。東京都への各種要望活動を積極的に行ったこと。本会の50周年記念に向けた取り組みなどの報告がされました。

平成28年度会計報告は松原会計担当理事が行い、会計監査も含めすべてが承認されました。次に29年度活動計画は眞壁会長が報告しました。①本会の50周年記念行事を成功させ、これからの50年を展望する節目とすること②みんなねっとと共に障害者の人権が守られ地域で安心して生活できる制度改革に取り組み、引き続き交通運賃割引運動を行うこと③マル障の平成30年度予算に精神障害者を組み込ませる運動を展開すること④家族会活性化、組織強化、財政問題への取り組みなどが説明されました。

植松会計担当理事が29年度予算案を提案し、すべて承認されました。最後に平成29年度役員案が提案され承認されました。なお、今年度で塚本邦之理事が退任されました。

平成30年度役員(敬称略)

会長 眞壁博美

副会長 植松和光・川崎洋子

本田道子・松澤 勝

理事 安藤万寿代・轡田英夫

中住孝典

理事(新) 鬼頭博子・小澤輝江

理事補佐(新) 松原のり子

監事 松尾鉄也・苛原真也

相談役 羽藤邦利・野村忠良

服部百合子

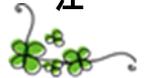
どうぞよろしくお願いいたします。





理事就任のご挨拶

理事 小澤輝江



この度、理事に任命されました小澤輝江と申します。所属する府中梅の木会では、副会長と相談員を務めております。

私が現在、心を傾けておりますのは相談員の任務です。地域の当事者の方、家族の方々の様々な悩みをお聴きし、どうしたら軽くしているかと案じながら心を込めて傾聴し、時にはヒントを、またあまりに自己中心と感じられる方には助言を差し上げています。ご本人が劣等感に苛まれ、自尊心のかけらもなくなつた方には、自尊心を取り戻せるように、肯定的な温かい心でお話を伺います。相談を受けて当事者の方の清らかな魂に触れ、ご家族の懊悩する魂に寄り添っていますと、不思議と私の心も癒されます。

この至福の境地になるまで、私は師である精神療法家の下で、15年以上をかけて「虚の自己（仮幻の自己）」から「あるがままの自己」を取り戻すための研鑽を続けてきました。「虚の自己」は、自らの生い立ちのなかでいつの間にか身に着けてきたもので、自分で自覚することができません。私の息子が精神の病気になることときの混乱、落胆、失望、未来への展望の喪失など、混乱した精神状態を思い出すと、現

在も心が痛みます。しかし、そのどん底から精神科医や家族会の皆様に支えられて一歩一歩、這い上がり与えられた現在の私の心境を思うとき、息子が精神の病になったことを悔いてはいません。もし、自分が順風満帆の境遇であったなら、苦勞の分からない高慢な人間になっていたのは確かです。

この度、東京つくし会の理事職をお受けしまして、府中梅の木会での相談員の経験などを活かし、更なる自己の成長を願う任務に邁進していく所存でございます。



はじめまして

理事 鬼頭 博子



今年度からつくし会の理事の仲間入りをさせていただくことになりました鬼頭です。

2004年に雪谷家族会に入会後現在はつばさ会の一員で「CSにしかまた」でカフェ婆をしています。今では珈琲メーカーもチンも上手く使いこなせるようになり、働く仲間や様々なご利用客との会話も楽しく、私自身も地域の憩いの場所として、心地良い時間を過ごしています。

わが家には14年前に29歳で統合失調症と診断された娘がいます。それなりに大波小波の病

気人生でしたが順調に回復し、2013年から北海道で自活を始めています。障害年金2級とパート賃金が生活費です。地域に溶け込み友人知人も増え、新たに出会った主治医との関係も良好で、嗚呼これなら私も家族会活動のお手伝いに専念できる、の思いで引き受けた今回の理事でした。ところが皮肉なことに元気で働けるようになった患者に対して国は手帳と障害年金の支給を停止しました。主治医の指導で薬を飲まない治療を受けていた娘は飲まないせいで元氣一杯自信満々、正社員の仕事を見つけるとガンガン働きました。それから1年後の先月、断薬と過勞と職場環境の変化で14年前と同じ状態でドカンと再発です。あまりにも遠い陸の孤島のような自然に包まれた娘が好む最良の環境が、今回私達両親が駆け付ける時間を阻み、入院できる病院も無く、焦りまぐるなかで事故や自殺未遂とめまぐるしく変化する状況の中、ようやく医療保護入院(隣町)できました。現在は服薬し落ち着きを取り戻していますが今後も彼の地で暮らしたいと帰京には応じません。この先何が起きるかわかりませんが、私に出来ることを肅々とお手伝いしたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



理事退任に際して

塚本 邦之

このたび私は当会の理事を退任いたしました。5年間しかお手伝いできなかったことを心苦しく思いますが、お許しください。今更申しあげることでもありませんが、会の関係者の熱心な活躍は、当事者をはじめご家族や関係者にとって力強い支援活動であると同時に身近な情報源でした。

どうぞ、役員や関係者の皆さまは、忍耐強く仕事を続けてください。それは多くの人たちへの支援と励ましになります。

まだ実現されていない精神障害者への医療費助成制度や交通費助成制度など、早期に制度の見直しができることを期待しております。

どうぞ、皆さまが健康に気を付けて、仕事に努めてくださいますよう、心からお祈りいたしております。



講演会のお知らせ

☆8/20(日) ひとはなぜ病を得るのか —イニシエーションと物語—
講師：東京都医学総合研究所 病院等連携研究センター長 糸川 昌成氏
会場：くにたち福祉会館 4階ホール 主催：シュロの会 ☎080-1211-6898

☆8/26(土) 発達障がいをもつ方々への理解と支援～多様な生き方、感じ方～
講師：福井大学大学院 准教授/臨床発達心理士スーパーバイザー
主催：調布市こころの健康支援センター☎042-490-8166 要申込 先着200名
場所：調布文化会館たづくり

※参加申込み・お問合せは、主催者までお願いします。

編集後記

雨と紫陽花はよく似合うと思います。私は紫陽花がなぜか好きで、雨に濡れた紫陽花はいい趣があります。(梅雨は嫌いです
が・・・)

家の近くの道路わきに私が名付けた紫陽花街道があり、毎年、赤・紫などの色をつけ目を楽しませてくれます。朝、出勤する時今年の紫陽花はいい色がついたなーとかあまりよくないなーなどと一人でブツブツ言いながらその道を通り過ぎます。ささやかな癒しです。紫陽花の花は花のように見える部分は花弁ではなく葉が変形したガクと呼ばれる葉っぱが変形したもののようです。和名の「アジサイ」はあづ(集まる)十さあい(真藍、青い花) という花が咲いている様子からきており、それが変化して名前になっているという由来があるようです。紫陽花の花言葉の中に「辛抱強い愛情」「寛容」「乙女の愛」というのがあります。家族会の方々の顔が次々と浮かんできます。さて9年度の評議員会も無事済みでした。組織強化のための提案やご意見も是非活かしていきたいですね。

都連理事

中住 孝典

